

平成 30 年度和歌山県看護研究学会終了の挨拶

於 和歌山県民文化会館

9 : 20 ~ 16 : 30

和歌山県看護研究学会委員長
和歌山県立医科大学保健看護学部
山口 昌子

平成 30 年度和歌山県看護研究学会は、平成 31 年 2 月 9 日に、一般口演 15 題、示説 17 題と参加者 345 名の方にご参集いただき、終了したことをご報告いたします。

本年は、「エンドオブライフケア」をテーマに特別講演、シンポジウムを企画しました。

特別講演では、「がんが治らなくなったとき～その人らしく生きるための支援～」として、神戸大学医学部先進的がん医療・研究推進学 乳腺内分泌外科教授 谷野裕一先生にご講演いただきました。がん診療のアドバンスケアプランニング(ACP)の考えとチームで患者・家族をサポートする取り組みを学ぶことができました。シンポジウムでは、「あらゆる立場からエンドオブライフケアを考える」として、日本赤十字社和歌山医療センター がん看護専門看護師 栗原宏貴先生に病院の立場から、橿原訪問看護ステーション 所長 伊藤絹枝先生に訪問看護の立場から、NPO 法人神戸なごみの家 理事長 緩和ケア認定看護師 松本京子先生にホームホスピスの立場からご講演いただきました。先生方の日頃の看護実践の具体的な内容と意見交換を通じて、参加された皆様それぞれに新たな気づきや今後の看護実践に繋がる場になったことと思われま

す。学会が盛況のうちに終わりましたことをこの場をお借りしまして深く御礼申し上げ、参加された皆様、関係者の皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念いたします。



会長の挨拶から平成最後の看護研究学会が始まる。



9:00 の受付開始時間は小ホールロビーが参加者でいっぱい。ご不便をおかけしました。10:00 頃から受付は落ちついてくる。



谷野先生の特別講演では、満席の状態。



シンポジウムでは質問も多く、活発なディスカッションだった。

昨年からの発表形式を変えた示説発表
少しずつ浸透してきたでしょうか。。。。

看護研究学会委員 6 名と協力員 15 名の皆様ご協力ありがとうございました！